

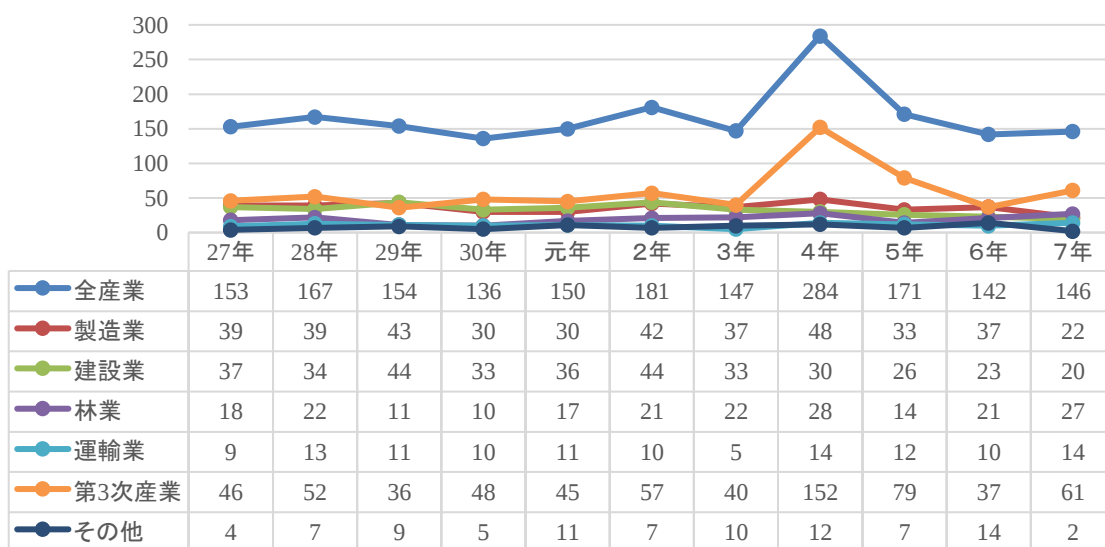
須崎労働基準監督署管内における 休業4日以上の労働災害発生状況等

ポイント

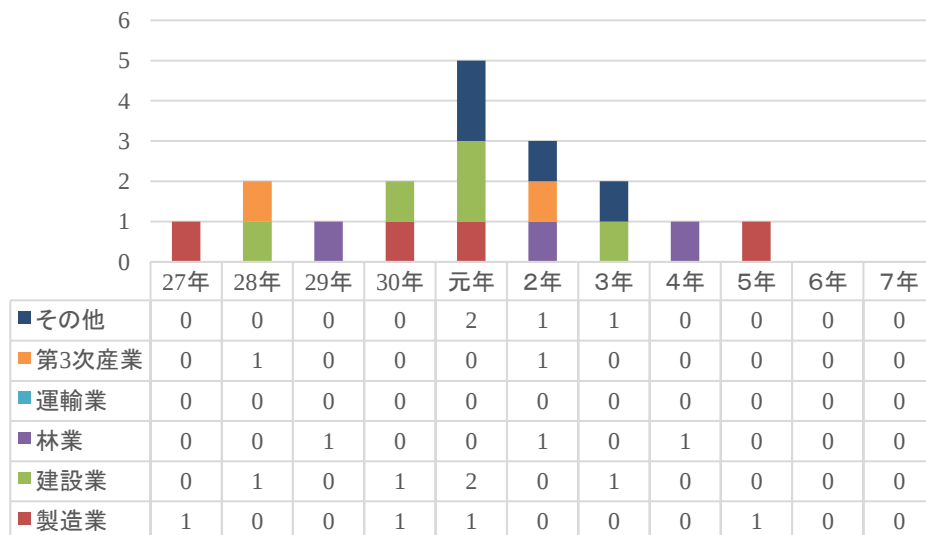
令和7年における業種別では「第3次産業」が多い割合（全産業の41.7%）を占めており、次いで「林業」、「製造業」、「建設業」の順で多くなっている。また、事故の型別では「転倒」が最多で、次いで「墜落・転落」、「切れ・こすれ」となっており、起因物別では「仮設物、建築物、構築物等」が最多となっている。

※ 死傷者数は労働者死傷病報告（休業4日以上）による数で死亡者数を含む。

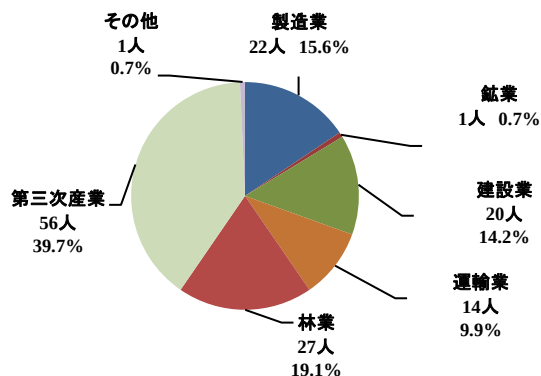
■業種別死傷者数の推移



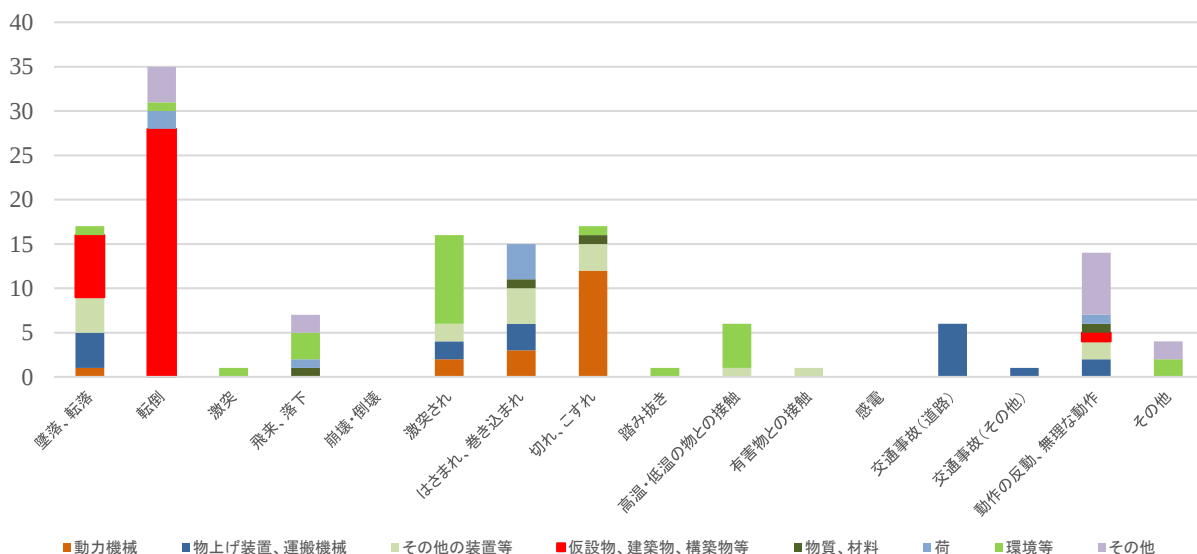
■業種別死亡者数の推移



■業種別労働災害発生状況（令和7年）（新型コロナウイルスによる労働災害除く）



■事故の型別（起因物）労働災害発生状況（令和7年）（新型コロナウイルスによる労働災害除く）



■年齢別（事故の型別）労働災害発生状況（令和7年）（新型コロナウイルスによる労働災害除く）

